

1. めざす学校像（学校教育目標）

「地域の中で生き生きと学び**豊かな心をもってよりよく生きる子どもの育成」**

- 子どもたちが生き生きと楽しく学ぶ学校
- 一人ひとりの子どもに居場所がある学校
- 保護者・地域と手を取り合って進む学校

2. 重点目標

(1) 主体的・協働的な学びを育む授業改善に努め、学力の定着を図ります。

- 児童が生き生きと“主体的・協働的に学ぶ授業”への改善
 - ・基礎基本の定着 ・「書く力」「読み取る力」の向上
 - ・課題解決力と情報活用力の向上 ・対話やふり返りの効果的な活用
 - ・学力調査等の活用 ・一人1台端末の効果的な活用 ・体力の向上
- 授業規律の定着
- 補充学習や家庭学習の充実
- 本物の芸術に触れる機会の創出と情操を育む活動

(2) 仲間とともにつながり合い、高まり合う学級づくりを進めます。

- 子どもの居場所がある学級づくり、子どもと子どもをつなぐ仲間づくり
 - ・「いじめを見逃さない」学校全体での組織的な取組
 - ・診断調査（QU）等の活用 ・不登校の未然防止
- 信頼関係を基盤とした児童理解と支援の充実
 - ・児童に関する統合的な校内委員会 ・個別の支援計画や指導計画整備
- 自らの生き方に向き合う学習や自治活動で“自分への自信”を持つ児童

(3) 保護者・地域とともにある学校づくりを進めます。

- 学校運営協議会を通じ、“保護者・地域とともにある学校”運営
- 地域の“人・もの・こと”を活用した学びの充実（地域フィールド学習）
- 地域参画と地域貢献（地域体験学習）
- 保護者・地域と協働した危機管理・健康・安全教育の充実
（感染予防、交通安全、防災防犯、睡眠、食の指導を通じた望ましい生活習慣）
- 学校情報の積極的な発信

(4) 教職員が働きやすい環境と、ワークライフバランスを大切にします。

- 「明るく、仲良く、元気よく」の職場風土
- 教職員が互いに学びあえる研修の推進
- 法令遵守意識の向上、ハラスメントの防止
- 時間外労働時間の削減、健康障害防止、ストレスリスクの軽減